

科目名	言語文化		学年	類型・コース	単位数
			1	全員	2単位
学習の目標	考える力や共感する力、豊かに想像する力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を身につける。				
使用教材	教科書：「新編 言語文化」(大修館書店) 副教材：				
評価	評価法	定期考査、小テスト、ノート・ファイル等提出物、振り返りシート、授業中の発表			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	日常生活において、考えや思いを他者と伝え合うための語句や表現を理解している。	
		b	思考・判断・表現	言語を通して、必要な事柄を正確に伝えたり、相手の意向を的確に捉えて解釈したり出来ている。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	自らの学習を振り返り、言語や文化を自らが継承、発展させていく担い手としての自覚を持っている。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評点(1~10の10段階)にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評定(1~5の5段階)にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
一学期	4	6	1. ことばと出会う 「ことばの森を育てよう」	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉の役割を理解する。 文中の語句や漢字を適切に扱う。	中間考査 提出物	中間考査 提出物	振り返りシート
	5	8					
	6	8	3. 文化を見つめる 「足し算の文化」	日本文化の特徴について、筆者の主張を理解する。 足し算されている日本文化の特色について、身の回りから具体例を探す。 文中の語句や漢字を適切に扱う。	期末考査 提出物	期末考査 発表	振り返りシート
二学期	7	4	4. 物語を受け継ぐ 「羅生門」	小説の構成を捉え、登場人物の心情の変化を読み取る。 オープンエンドの考察を行う。 比喩表現を理解し、適切に扱う。 文中の語句や漢字を適切に扱う。	中間考査 提出物	中間考査 提出物	振り返りシート
	9	8					
	10	8					
	11	8		「今昔物語」との関連や、作者について理解する。	期末考査 提出物	期末考査 発表 小テスト	まとめレポート
三学期	12	4	校内百人一首大会にむけて	百人一首に関する基本知識を理解する。 好きな首をいくつか覚える。	学年末考査 小テスト 提出物	学年末考査 発表 提出物	振り返りシート
	1	6	1. 古文に親しむ 「兄のそら寝」	古文の読みを理解する。登場人物の行動、心情を理解する。 重要古語を理解する。			まとめレポート
	2	8					
	3	2	3. 物語の広がり 「伊勢物語 芥川」	物語の展開を理解する。 和歌に詠まれた心情を理解する。 当時の文化や考え方を理解する。 重要古語を理解する。			

担当者からのメッセージ (学習方法など)

「ゆっくり読む」ことを重要視し、丁寧な読解力を養う。

科目名	高校国語の基礎		学年	類型・コース	単位数
			1年	全員	2単位
学習の目標	他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自身の見方・考え方を効果的に表現する資質・能力を養う。				
使用教材	自主教材 書いて覚える漢字練習ノート（京都書房）				
評価	評価法	定期考査・パフォーマンス課題（作文）・提出課題（漢字練習ノート、授業プリント）等で評価します。			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	
		b	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら言語感覚を磨き、言葉を効果的に使うための課題に取り組んでいる。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4～5月	10	<ul style="list-style-type: none"> 漢字学習5級 自己紹介文 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習ノートの5級を進める 原稿用紙の使い方の学習 自己紹介文を書く 	中間考査 作文課題	中間考査 作文課題	授業プリント 漢字ノート
1学期	5～7月	16	<ul style="list-style-type: none"> 漢字学習5級 適切な表現方法を学ぶ おすすめ文 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習ノートの5級を進める 主語と述語を対応させる 係り受けを整える 話し言葉を直す 商品のおすすめ文を書く 	期末考査 作文課題	期末考査 作文課題	授業プリント 漢字ノート

2 学期	9 ~ 10月	12	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習 5 級 ・正しい敬語を学ぶ ・語彙力の養成 ・意見文 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習ノートの 5 級を進める ・敬語の種類を知る ・敬語を正しく使えるようになる ・ことわざを正しく使う ・意見文を書く 	中間 考查	中間 考查	授業 プリント
			<ul style="list-style-type: none"> ・作文課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文課題 			漢字 ノート
2 学期	10~ 12月	16	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習 4 級 ・語彙力の養成 ・適切な表現方法を学ぶ ・賛成反対意見文 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習ノートの 4 級を進める ・故事成語・慣用句を正しく使う ・表記を整える ・文を短くする ・文をつなぐ ・賛成反対意見文を書く 	期 末 考查	期 末 考查	授業 プリント
			<ul style="list-style-type: none"> ・作文課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文課題 			漢字 ノート
3 学期	1~ 3月	16	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習 4 級 ・語彙力の養成 ・適切な表現方法を学ぶ ・課題文型意見文 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習ノートの 4 級を進める ・四字熟語を正しく使う ・外来語を正しく使う ・5W1Hを整理する ・電話での話し方を知る ・課題文を読んで意見文を書く 	学 年 末 考 査	学 年 末 考 査	授業 プリント
			<ul style="list-style-type: none"> ・作文課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文課題 			漢字 ノート

担当者からのメッセージ (学習方法など)

週 2 回の授業を 1 時間は表現、1 時間は漢字に分けて実施する。
 表現は自主教材にて学習。
 漢字は漢字練習ノート (京都書房) にて学習。

[国語]

令和 4年度	科目名	単位数	学科・学年
	国語総合	2	全学科・2学年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く様々な分野の文章に接することにより、読解力を養うとともに、生涯にわたって本に親しめる読書習慣を身につける。 古文、漢文の基礎を理解して、入門的な文章が読解できるようにする。 短歌を読み味わい、感性を磨き、自らも創作できるようにする。
使用教科書・副教材等	「高等学校 改訂版 新編国語総合」(第一学習社) 「書いて覚える漢字練習ノート」(京都書房)

2. 評価の観点

		定期考査	授業の取組み	提出物	出欠状況	科目による評価規準
評価 観点	関心・意欲・態度		◎	◎	◎	定期テストの成績はもちろん、提出物や出席状況、授業に取り組む姿勢なども重視する。
	話す・聞く能力		○			
	書く能力	◎	◎	◎		
	読む能力	◎	◎			
	知識・理解	◎	◎	○		

3. 年間計画

月	週	相当 時間	学習項目	学習到達目標	学習の方法
4	3	6	古文の学習 古文を読むために	歴史的仮名遣いに留意して、正しく読めるようにする。	補助プリントにて問題演習。
5	3	6	宇治拾遺物語 「児のそら寝」	場面の意味内容を理解して、読み味わえるようにする。	補助プリントにて学習。
5	1	2	漢字の学習 4級 定期考査	基礎的な漢字が書けるようになる。 学力の定着を確認する。	副教材にて学習。
6	4	8	竹取物語 「かぐや姫のおひたち」	文章が書かれた時代特有の感じ方や生活の姿を理解する。	補助プリントにて学習。
7	1	2	漢字の学習 4級 定期考査	基礎的な漢字が書けるようになる。 学力の定着を確認する。	副教材にて学習。
9	4	8	漢文の基礎理解 訓読に親しむ	漢文とは何かが分かり、返り点、送りがない、書き下し文等について理解する。	補助プリントにて問題演習。
10	3	6	「虎の威を借る狐」	入門的な漢文を訓読し、意味内容を理解できるようにする。	補助プリントにて学習。
10	1	2	漢字の学習 4級 定期考査	基礎的な漢字が書けるようになる。 学力の定着を確認する。	副教材にて学習。
11	4	8	唐詩の世界 「静夜思」「春暁」 「送元二遺安西」「春望」	漢詩の基本的な知識を理解し、詩が表現する情景を味わう。	補助プリントにて学習。
12	1	2	百人一首大会に向けて 定期考査	百人一首を味わい、暗誦する。 学力の定着を確認する。	新年に開かれる百人一首大会を目標に据える
1	3	6	小説「夢十夜 第一夜」	幻想的な世界観を描き出す表現上の手法を理解する。	補助プリントにて学習。
2	4	8	小説「夢十夜 第六夜」	小説に表現された世界観を通して、作者の意図を読み取る。	補助プリントにて学習。
3	1	2	漢字の学習 3級 定期考査	学力の定着を確認する。	副教材にて学習。

令和 4年度	科目名	単位数	学科・学年
	実用国語	2	全学科・3学年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	実社会に出るにあたって最低限身につけておきたい実用的な国語の力の習得。演習形式による学習活動を通じて話し方、書き方、伝え方の基礎基本の習得と運用能力を高める。
主たる使用教材	自主教材 漢検漢字学習トレーニング 国語常識とSPIパワーアップノート

2. 評価の観点

	定期考査	授業の取組み	提出物	出欠状況	科目による評価規準
評価 観点	関心・意欲・態度		◎	◎	定期テストの成績はもちろん、提出物や出席状況、授業に取り組む姿勢なども重視し、それらを総合評価する。
	話す・聞く能力	◎	◎	○	
	書く能力	◎	◎	◎	
	読む能力	○	◎		
	知識・理解	◎	○	○	

3. 年間計画

月	週	配 時 間	学習項目	学習到達目標	学習の方法
4	3	6	・国語常識とSPIパワーアップノート「二語の関係」 ・自己PR文を書く	・場面に合った表現を的確に選べる ・自分の長所を文章にできる。	教材プリント 練習プリント 小テスト
5	4	8	・国語常識とSPIパワーアップノート「語句の用法」 ・定期考査 ・面接練習を想定した文章を考える。	・言葉に関する理解を深める。 ・キャリアとタイアップし、面接練習を想定した文章を考える。	教材プリント 練習プリント 小テスト
6	4	8	・国語常識とSPIパワーアップノート「熟語の成り立ち」「文・文節の並び替え」 ・敬語を正しく使う。	・言葉に関する理解を深める。 ・敬語を正しく理解し、使えるようになる。	教材プリント 練習プリント 小テスト
7	1	2	・定期考査 ・国語常識とSPIパワーアップノート「空欄補充」「長文読解」 ・夏課題	・文章の流れを理解する。 ・漢字の復習をし、実践力を養う。	
9	4	8	・四字熟語 ・「山月記」を読む	・代表的な四字熟語をマスターする。 ・四字熟語の意味を理解して使えるようになる。 ・小説を読み味わう	教材プリント 練習プリント 小テスト
10	4	8	・ことわざ・故事成語 ・定期考査 ・「山月記」を読む	・ことわざを正しく理解して使えるようになる。 ・小説を読み味わう	教材プリント 練習プリント 小テスト
11	4	8	・お礼状など手紙の書き方。 ・「山月記」を読む	・手紙の書き方をマスターする。 ・一定量の小説をじっくり読む。	教材プリント 練習プリント 小テスト
12	1	2	・定期考査 ・年賀状などの書き方 ・冬課題	・年賀状の作成ができる	課題プリント
1	3	6	・百人一首クラス予選 ・文学史 ・定期考査	・和歌を通して古典に触れる。 ・文学史の流れを理解して、漢字で正しく書けるようになる。	図書館で実施 教材プリント

令和 4年度	科目名	単位数	学科・学年	
	国語表現	2	全学科・3学年	

1, 学習の到達目標

学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めると共に、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
使用教科書・副教材等	国語表現（大修館書店）

2, 評価の観点

		定期考査	授業の取組み	提出物	出欠状況	科目による評価規準
評価 観点	関心・意欲・態度		◎	◎	◎	自分の考えを話すこと・表現することの基本的な態度や心構えを理解し、目的や相手に合わせた文章を書くことができる。
	話す・聞く能力		○			
	書く能力	◎	◎	◎		
	知識・理解	◎		○		

3, 年間計画

月	週	日	学習項目	学習到達目標	学習の方法
4	3	6	・表現力を培う。	・自分の考えを話すことの基本的な態度や心構えを理解する。 ・読解力を養う。	・演習プリント、補充プリント等を毎回確実に仕上げる事で、読んで、考えて、書くということを習慣づける。 ・長文を読み、設問の解答方法を知る。
5	4	8	・志望動機をまとめる。	・説得力のある志望動機を書く。	・「志望理由書」に必要なことを学び、夏休み以後に備える。
6	4	8	・小論文を書く。	・読んだ人が納得できる文章を書く。	・主題を決めて、次に書く材料を集め、構成を考えて文章を組み立てる。書き終えたら推敲する。
7	1	2	・文章題を読み解く。	・長文を時間内に読解する。	・補助プリントを用意して、段階的に進めるようにする。
9	4	8	・資料を読み取って小論文を書く。	・それぞれのスタイルの特徴を理解し、実際にその文章を書くことができる。	・「小論文頻出テーマ」について学習し、解説文をもとに、文章を要約する方法について学ぶ。
10	4	8	・メディアを考える。 ・文学的な文章を読み味わう。	・様々な考え方の文章を読み、自分の意見に役立てる。 ・電話のかけ方・電子メールなど生徒が使う可能性のあるメディアの使い方を知る。	・生徒が引き込まれるような場面や表現を取り上げる。 ・お互いに感想を述べ合ったり、文章にまとめたりして、考えを深める。
11	4	8	・文学史について基本事項を把握する。	・作者や時代背景についての知識を持つことで、読書のおもしろさが増すようになる。	・補助プリントを用意して段階的に進めるようにする。
12	1	2	・随筆を読み味わう。	・卒業後の読書活動につながるような知識を習得する。	・補助プリントを用意して段階的に進めるようにする。
1	3	6	・論説文を読み味わう。	・人の意見を正しく読み取る。	・補助プリントを用意して段階的に進めるようにする。